

食品中の残留農薬検査結果 厚生労働省



厚生労働省では食品中の残留農薬検査結果について取りまとめ、公表しています。公表内容は以下のとおりです。

1. 平成 15 年度食品中の残留農薬の一日摂取量調査結果

国民が日常の食事を介して摂取している残留農薬は、マーケットバスケット調査方式による調査によりますと、推定される摂取量の許容一日摂取量(ADI)に占める割合(ADI比)が0.08~27.31%とADIを大きく下回っている事から、今回調査の対象とした農薬の食品を通じた摂取については現状では問題はないと考えられました。

2. 平成 14 年度農作物中の残留農薬検査結果

平成 14 年度に実施された農作物中の残留農薬検査結果を以下のとおり取りまとめました。

1.検査数	910,989 件 (地方公共団体、検疫所及び地方衛生研究所より)		
2.検査対象農薬数	320 農薬		
3.農薬検出数	3,289 件(0.36%)		
	国産品	868 件(0.44%)	輸入品 2,414 件(0.34%)
4.基準値を超えた数	110 件(0.03%)		
	国産品	27 件(0.02%)	輸入品 83 件(0.03%)

本結果より、農薬の検出割合及び基準値を超えた割合が極めて低く、我が国で流通している農産物の残留農薬レベルは低いものと判断されます。

3. 平成 14 年度畜産食品中の残留農薬検査結果について

平成 14 年度に実施された畜産食品における残留農薬検査結果を以下のとおり取りまとめました。

1.検査数	3,321 件 (地方公共団体及び検疫所より)		
2.検査対象農薬数	33 農薬		
3.農薬検出数	22 件(0.66%)		
	国産品	13 件(0.48%)	輸入品 9 件(1.44%)
4.基準値を超えた数	0 件(0.00%)		
	国産品	0 件(0.00%)	輸入品 0 件(0.00%)

本結果より、我が国で流通している畜産食品における農薬の残留レベルは極めて低いものと判断されます。

当社では本年 5 月 29 日より施行されますポジティブリスト制に対応する食品中残留農薬分析を行っております。残留農薬分析に関しましてご質問等ございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

資料 2006 年 4 月 18 日付 厚生労働省 HP

商品開発箇所 須賀重政